

シルバー

# かわさき

平成3年9月1日

## 第 3 号

(財)シルバー人材センター  
川崎市生きがい事業団

川崎市川崎区堤根34番1  
電話 044(222)1550



彫刻 福原政利会員  
写真 酒井辰夫会員

## 理事長就任

にあたり

理事長 竹島 興 男



会員の皆様並びに各関係者の方々には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。事業団設立以来、理事長であられた前保谷三郎理事長から平成二十一年一月一日付で理事長職を引継ぎ、就任致しました。

理事長就任早々には、事業団設立十周年記念大会の開催に漕ぎ着け、関係各位のご努力により成功裡に終えることができました。

シルバー人材センターの基本理念の「自主・自立・共働・共助」の精神を念頭に二十一世紀に向けて高齢者問題と合わせて、地域的にも関心をもっと高めていくとともに高齢化社会の一翼を担う社会的責任を果たすべく、一団となって努力していかなばなりません。

今後とも、シルバー人材センター発展のため、皆様のご指導、ご鞭撻のほどお願いいたしますとともに、会員各位にはご家族のご協力も肝要であり、日常の健康に留意のうえ、楽しく生きがいのある就業に励み、意義ある第二の人生としていただきたいと思います。

最後に、皆様とのお会いできる日を楽しみに私の理事長就任の挨拶といたします。

## 高齢化社会

について

事務局長 岩 佐 重 夫



ご案内の通り、日本人の生命は、戦後医療や社会保障等の発達により平均寿命が世界の中でも最長寿命となりました。

来るべき超高齢化社会にどのように対応すべきか大きな課題となっております。高齢化がもたらす問題はひとりの高齢

のみのものではなく、健康、医療、年金雇用等極めて広範多岐に及ぶものであります。

長い人生経験の豊かさと知識等を活用し、さらに地域のため社会参加する方々、又、老人クラブ等に参加してお仲間をつくり老後を明るく豊かに過ごされる方々、高齢者自身によってそれぞれの生きがいがあると思いますが、反面ご病気等により、寝たきり及び痴呆症になられる方々も年々増えてまいりました。と、同時にご家族の方々のご苦勞も並大抵ではない

かと思えます。従いましてこのような現状を適格に捕らえるとともに総合的に問題点が何かと見極めて、高齢者の方々が安心して老後を暮らせるように努力していかなければならないかと存じます。

最後に私事で恐縮ですが、このたび四月一日に事務局長として就任いたしました。六ヶ月を経過いたしました。まだまだ新米なのでいろいろとご迷惑をお掛けしていると思いますが、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

# 研修会報告

(南部/中部)

南部地域生きがい事業団、中部地域生きがい事業団合同により、去る3月16日(土)、高津市民館3階第一・第二会議室において会員研修会が開催されました。今回の研修会は、講師に聖マリヤンナ医科大学の関久子先生をお迎えして「高齢者の健康とスポーツ」というテーマで午前10時より正午までの2時間、講演をしていただきました。

会員の方々にとって最も関心の高いテーマということもあって皆さん大変熱心に聞いていらっしゃいました。最後に設けられた質問の時間では、会



員の皆さんが次々と活発な質問をされ、時間がたりないくらいでした。また、ある会員さんは自らの病氣克服の

体験談を語られ、場内をおおいにわかせてくれました。

講演を終えられた関先生、「みなさんとても熱心に聞いて下さったので、とても話しやすかった。」と語っていらっしゃいました。

尚、今回の研修会は会場の都合上参加人数は先着70名で締め切らせて頂きました。残念ながら参加できなかったみなさん、本当に申し訳ありませんでした。

(北部)

北部地域生きがい事業団の研修会は、去る3月12日(火)川崎市麻生老人福祉センターにおいて開催されました。

今回の研修会は、「多くの会員の皆さんに参加していただける研修会」を目的として、講演・ビデオの上映を行い、参加した150名余りの会員の方々は、最後まで熱心に傾聴し、満足された様子でした。

講演は、養護老人ホーム恵楽園の吉沢資郎園長を招き、老人ホームの実態、高齢者が抱えている社会的な問題点、シルバー人材センターの役割など、興味深い話をして頂き、1時間の講演は終了しま

した。

公演終了後、ビデオ「出会い・ふれあい」を上映しました。このビデオは、北



部の会員の皆さんの協力により製作したPRビデオで会員の就業風景を30分間の映像に収めたものです。

当日は研修会と並行して会員の皆さんによる作品展も行い、普段はなかなか見ることのできない趣味の作品を展示しました。展示された作品は、趣味の域を超越した力作ぞろい、集まった会員、市民の皆さんは素晴らしい作品を前に熱心に鑑賞されたり、作り方を製作者に尋ねたりと大盛況でした。

そしてこの研修会では、多くの方にご協力をいただきました。この場でお礼を申し上げます。

事業団では今年度も研修会を行いますので、皆さん奮ってご参加ください。

# 十周年記念大会開催される



理事長挨拶



感謝状贈呈



ショートショートな講演会



質問する会員

なかでも倉員氏はOHPを使用し、老後の生き方、考え方について詳細にお話くださいました。

財団法人シルバー人材センター川崎市生きがい事業団設立十周年記念大会が、平成二年十一月二十七日(火)、川崎市立中原会館(エポックなかはら)で、財団法人川崎市老人クラブ連合会の後援をいただき開催されました。

司会者の開会宣言ののち、第一部式典は、岡本圭象事務局長、竹島興男理事長の会員及び関係各位に対し、設立十

周年を無事に迎えられた謝辞の挨拶がありました。

引き続き、設立当初から平成二年十月三十一日まで理事長の任を果たしていただいた保谷三郎氏に感謝状と記念品が贈呈されました。

また、ご来賓の方からは須藤道也神奈川県失業対策事業課長、田村清治川崎市民生局長、斎藤清吉川崎市老人クラブ連合会理事長、山田久雄

川崎商工会議所会頭(江添健一専務理事代読)からご祝辞を頂戴いたしました。

第二部は「ショートショートの講演会」と題し、  
一、シルバー人材センターの役割 (岡本事務局長)

二、旅の楽しさ (桐生英一氏)

三、人生の夢づくり (倉員孝典氏)

の三者による短い講演会を行いました。

第三部のアトラクションは岡本敦郎ショーを催しました。

「白い花の咲く頃」

「あこがれの郵便馬車」

「高原列車は行く」

など、戦後の日本にさわやかに流れた、変わらない歌声で十曲余りを歌っていただきましたが、会場からも口ずさむ歌声が沸き上がり、懐かしい思い出に浸るひとときを持ちました。



岡本敦郎ショー



熱心に見る会場の皆さん



大会が終わり、三々五々帰宅の途に…

以上のような内容で十周年記念大会は終了しました。

記念大会を開催するにあたり、細長い川崎の地形もあり、大勢の方々に集まっていただけかどうかが、また初めての大きな行事を無事に終えることが出来るかどうか、大変心配しましたが、その心配が徒労に終わったのも会員の皆さんをはじめ各関係団体の皆さんのご協力のおかげだと深く感謝しております。本当にありがとうございました。

そして今、センターも二十周年への道を一步踏み出しました。センターの活動の中心は、会員の皆さんの地道な誠意ある仕事ぶりに支えられています。職域の拡大など職員も努力を続けますが、皆さんも健康に留意しつつ、より一層のご活躍をお願いしたいと思います。

投稿コーナー

## 会 員

## 発 。

## 思 い 出

多摩区 羽生田 数 男

それは、ある年の十二月中旬溝ノ口の高齢者生きがい事業団の事務所を訪れました。

当時七十二才の小生は再び生きがいを得たい気持ちでした。何か世間のためにすこしでも報いたい気持ちがありました(本心は退屈過剰かも)。

さて、その面接でお会いした職員の人ですが、財団法人とはいえ半官半民の役所風だろうと懸念していたのです。

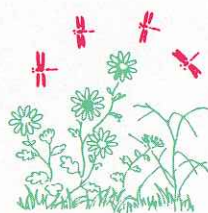
ところがどうしてどうしてその面接態度の優しき、心づかいは大変うれしい思い出となりました。

今はあるマンション(三階建十八世帯)の清掃作業をして四年目を迎えました。このマンションの大家さんの心あたたまる優しいお人柄、住人のご協力、朝の挨拶、幼児、学童のしつけの良いことに好感がもたれます。

これからもシルバークワキ族の精神を全うするまでこの作業を続けたいと思っています。

す。

シルバークワキ会員の皆様お互いに助け合い頑張っていきましょう。



## 人 生 の 生 き 甲 斐

幸 区 本 田 孝 幸

生き甲斐とは何か?人生それぞれの考え方がありましよう。私は過去の経験から、人生は自分の殻に閉じ籠ってはなりません。健康である以上たとえ定年を迎えても…と考えます。

私がそうでした。四十余年の銀行を辞してから…さて自分が健康であれば社会のために何を成すべきかと考えた末…、そうだ身近な地域社会での生き方を…町会の人へも近隣の人にも今までは、「おはようございます」「こんばんわ」の挨拶だけでした。これを「やあ」と声をかけてお互いに助け合えるきっかけができるとすばらしいな思っていたところ、

さいわいにして幸スポーツセンター開設時から高齢者の健康体操を、そして井田の長寿荘では体操クラブの指導をさせていただいております、町会及び町づくりのお手伝いができることの喜びを味わっております。

ましてや、生きがい事業団に登録していたところ、昨年四月に河原町保育園での仕事はどうかと職員の方からすすめられ、園長先生への紹介もあり仕事のことにつきましてもうかがったところ、まず驚いたことに女性だけの運営のため男性がいなくてできない仕事は山ほどある。私はつくづく考え、以来毎週三日位は必ずボランティア精神で仕事をして結構楽しく、また園長先生以下、諸先生方にも親切にしてください、いろいろな仕事があります。

何よりも励みになりますのは、慣れてきて園児より「おじさんありがとう」と言われるのが最高に嬉しいですね。

それから三月末でしたか卒園する園児の男の子と女の子の代表が保母さんに付き添われて「本田のおじさんどうもありがとう」と首飾りや花束をもらった時は思いも寄らないこと感激しました。

これからも健康である限り頑張りたい  
と思います。



### 緊迫の中東情勢

宮前区 榎山 亮

八月の新聞報道は、イラクのクエート  
侵攻で緊迫する中東情勢とシヨックな見  
出しで報じている。

「八月二十五日イラクのマンスメリア  
ホテルに軟禁状態になっている日本人の  
うち、男性ばかり約二十名が他の外国人  
と共に連行された。行先は不明で外務省  
が確認を急いでいる。またクエートの日  
本大使館では電気、水道、電話線が切断  
され、これはイラクに制裁を加えている  
国への見せしめの意味がありそう。事態  
は深刻との声も出始めた。」

これらの記事を読んでいると、ああ、  
また世界のどこかで戦争が…。

いつの世にも戦争はつきまとうものな  
のかと悲しくもなる。だが戦争によって  
他の国が軍需景気で腹を肥やすところも

あると聞く。現に朝鮮戦争の時は日本が  
好景気到来とばかりに、はなやかな時代  
もあったが、それも夜空の花火の如く消  
えて、はかないものだった。

今度のイラクの紛争は、何十年前前、  
日本の関東軍が中国侵攻したのと同じで  
はないか。ただ違う点は人質を盾にしな  
かっただけだ…。

とにかく一触即発の危機をはらんでい  
ることはたしかだ。この原稿が会報に載  
るころは、平和な世界に戻ることを願っ  
てやまない。

文芸コーナー

## 野の道

### 短歌

土手づたい野菊の花は咲き乱れ  
時をも忘れひとり見るだに

かつき遅く熟れたる柿の実は

誰見るでもなく鳥の餌食に

幸区 佐藤 正司

赤とんぼひとつ止まりて首ふりぬ  
狭き庭の静かなる日に

多摩区 羽生田 数男

縫うていく郷里の山道懐かしく

腕白なりし昔思ひぬ

川崎区 諸星 久雄

### 俳句

黒小茄子秋冷えになお残りいて

多摩区 羽生田 数男

時化晴れて明けたる秋の青さかな

幸区 山木 鋭雄

涼夕や粋な風情の夏柳

孟蘭盆会故人偲びて納経す

高津区 杉本 綾子

薰風や軒で子猫の昼寝かな

川崎区 諸星 久雄

## 働くシルバー元気人



現在、シルバー人材センターでは、六十二箇所の川崎市の公

「お金じゃないんだよ。健康のために働いているんだ。家でコタツの四本足抱えてテレビ見てたら、人間ダメになっちゃうよ。」と話す長岡重蔵さん(83)は、マンション共有部分とポリバケツの清掃を九年間続けています。

山形生まれの山形育ち、昭和十五年に川崎に引越してこられた、山形弁が残る優しい口調でこう続けます。

「週に三日、一日二時間のこの仕事をきちんとやる、それが生きがいなんだ。」暑さ寒さが体に応える外仕事、辛いことはないかと尋ねてみました。

「雨が降ると仕事ができない、それが一番辛いことだね。」と、元気を答えが返ってきました。

早寝・早起き、朝の散歩、仕事のない日のサイクリング、これが長岡さんの元気のもと。時間がある時に新宿や浅草へ映画を観に行くのも楽しみのひとつ。

「体が動くうちは、仕事を続けていき

共施設において、会員のみなさんが活躍されています。なかでも最も多いのが全体の三分の二以上を占める保育園です。

沓掛勝次さん(78)は、昭和五十六年度から、もう十年以上も川崎区にある「観音町保育園」に就業されている大ベテランです。園内のはき掃除に始まり、ゴミ出し、除草、植木の剪定、ペンキ塗り、大工仕事に至るまでいろいろな仕事をテキパキとこなし、月に十日、一日四時間のこの仕事をほとんど一日も休むことなく続けておられます。

たい。やめることなんて一度も考えたことはないよ。」



まだまだ  
だお元気  
な長岡さ  
ん、うん  
と長生き  
をしてこ  
れからも  
ガンバッ  
テくださ  
い。

そのパワーの秘密は、毎朝食べ続けている「牛乳メシ」だということです。作り方は簡単で、ただご飯に牛乳をかけるだけで出来上がりです。みなさんも一度試してみてはいかがですか？

「園長先生を始め職員のみなさんがい人達ばかりだから、俺も続けていかれるんだ。」と沓掛さんは語ります。

その誠実で暖かい人柄でみんなから慕われている沓掛さん。子供達の笑顔に囲まれて働いている姿は本当に幸せそうでした。



表紙を飾っていたいただきました



中原区 下小田中

福原 政利 (76)

私の作品がこの会報の表紙に載り、大変喜んでおります。

私は五十年余り家具、建築彫刻で生計を立てて参りましたが、その間国会議事堂の議場席の彫刻もやらせていただきました。

現在はシルバー人材センターのお世話で、ある会社で軽作業の仕事をやらせていただいている傍ら、余暇を利用して好きな彫刻を楽しんでおり、大変充実した毎日を送っております。



宮前区 馬絹

酒井 辰夫 (75)

私と写真との出会いは、会社に勤めていた頃、好きな旅行に行った際見た富士景色に魅せられてからで、次第に興味を持ち始め、本格的にやり始めたのは定年退職後からでした。

山梨県の忍野からの富士山、潮来水郷のあやめ祭り：等、何時間もファインダーの一点を見つめ、撮り、現像する過程においての緊張、そして予想以上に焼きあがった時の喜びは格別です。



集まれ原稿 (原稿大募集)

事務局では、会員の皆さんから原稿を募集し、読んで楽しい会報を作りたいと考えていますが、肝心の原稿が集まらず苦慮しています。

- ◆ 随筆 (600字以内)
- ◆ 旅行記 (600字以内)
- ◆ 私の趣味 (600字以内)
- ◆ こんな穴場を 知ってます (600字以内)
- ◆ 詩、短歌、俳句、川柳
- ◆ 四コマまんが
- ◆ 写真 (次号新年号の表紙用) 写真の締切りは11月末とさせていただきます。

出来栄など気にせず、とにかく応募して下さい。大勢の方の投稿をお待ちしています。

◎ 送り先 各地域生がい事業団

**会  
員  
募  
集**

現在、センターでは人手不足の状態です。皆さんのご近所、またはお知り合いの方で健康維持のため何らかの仕事をしたい、仕事を通じて社会参加をしたいという方がおられましたら、ぜひシルバー人材センターを教えてあげてください。

一人でも多くの働く仲間を増やしましょう。

**事務局通信**

◆ 昨年11月より川崎市役所区民相談室内に相談窓口が開設されました。

◆ 北部地域生きがい事業団では、来る10月13日(日)に開催される麻生区民祭に参加します。

参加のお手伝いをしてくださる多摩区・麻生区にお住まいの会員の皆さん、事務局までご連絡ください。

**連絡先**

北部地域生きがい事業団事務所

電話 九五一一一七〇〇

◆ センターの会員の中で健康状態がすぐれない、他で働いている、希望の仕事がない、事務局からの連絡がなかった等の理由で、現在センターの仕事には就かれていない方が多数います。

ここ数年、特に除草、清掃、家事手伝い、その他技能関係の職種において人材が不足しております。

まだまだ健康で働く意欲があるという会員の方は、ぜひ一度事務局へ連絡してください。お待ちしております。

**編集後記**

残暑厳しい折り、皆さんいかがお過ごしでしょうか？今年の夏もたいへんな暑さでした。近年ではクーラーのない生活は家庭や職場においても考えられなくなりました。屋外作業に従事する会員の方のご苦勞が察せられます。

昨年は設立十周年を迎え、記念事業を開催したりと我々事務局職員にとっても節目となる一年でした。今後とも皆さんと一緒に歩んでいきたいと思っておりますのでご協力をお願いします。

シルバーかわさきの発行は今号で第三号となりますが、次号からは定期的な発行を目指したいと思っています。

第四号は新年号を予定していますのでお楽しみに。また、会報についてのご意見・ご要望等お待ちしております。

これから一年のうちで最も過ごしやすい季節を迎えます。趣味に、旅行に、またセンターでの仕事にと、ご活躍ください。

〔編集スタッフ〕

渡辺 弘、野口 実、渡辺美佐子  
榎本 実、岡田 信和、市川 賢司